



平成26年2月10日

Vol. 112

発行所 加来不動産(株)

発行者 加来 寛

小倉南区守恒本町一十二
二二三・一〇一

(093)九六二一五八一

<http://www.kaku-f.co.jp/>

昔から『三寒四温』と言われるますが、最近すこしくずれてきてきているように感じますね。寒暖の差が体調をくずしてしまう原因にもなるので、わたしは毎日気温の確認をしてその日の服装を決めています。またなるべく休肝日をもうけ、野菜などをおおく食べるよう心がけています。何はともあれ、健康が一番！ですね。

不動産なんでも相談

Q、賃貸マンションに住んでいるのですが、結露がひどく困っています。何か対策はないでしょうか？

賃貸マンションに住み始めて2年が経ちますが、結露がひどいため、何か対策をとらないと窓枠(木部分)が傷み、退去するときに補修費用がかかってしまうのではないかと心配しています。結露を防止するために何かよい対策方法はないでしょうか？

A、あえて言えば、「換気・除湿」と「室内の加湿の原因となるものに気を付ける」「結露防止シートや、防止剤をつかう」ということではないでしょうか。

(結露の防止後半)



一枚の年賀状からステキなギフトを頂きました♪

園田博美の感動体験！

毎年、枚数は少なくなるものの、今年も

知人友人から心のこもった年賀状をいただきました。その中の一枚に子供が書いた鉛筆書きの目がキラキラとしドレスを着た女の子の姿が書かれたものがありました。女性なら誰もが幼少の頃1度は描いたことのあるようなアノ自画像？です(笑)その横には、おぼつかない文字の【あけましておめでとう】。なんだか懐かしい感じのするハガキです。届いた年賀状を家族別に振り分けていた私は当然のように娘の束の方にそのハガキを分別しました。

数時間後、自分に届いた年賀状をワクワクしながら丁寧に見ていた娘から「このハガキお母さん宛にだよ」と先ほどのハガキを渡されました。【???】で頭がいっぱいの私、差出人は古くからの友人の名前が書かれています。「??」。女の子の絵を友人の娘に描かせたことに気付くのに少々時間が必要でした。【なんとという素敵なおセンス♪】その一枚の年賀状からは、文字には書いていないものの子供達の成長と家族が仲良く元気に過ごしていることの報告があふれていて、私はとてもうれしくなりました。最近ではめっきり減ってしまいましたが一枚のハガキを通し、差出人・受取人へ思いをはせる感覚は、とても美しく心がおだやかになるものだと思います。今年は年明け早々、友人から一本取られたエピソードです。ありがとうございました。

結露の防止後半へ

■結露はなぜ発生するのか？

冒頭で結露を防止するのは「換気・除湿」と「室内の加湿の原因になるものに気を付ける」

「結露防止シート・防止剤をつかう」という、分かったような分からないような回答をしました。が、そもそもなぜ結露が発生するのか、ということを理解すると結露防止への近道になりますので、結露発生メカニズムについて説明いたします。



空気中には空気だけではなく、目には見えませんが水分も存在しています。例えるなら、水が空気に溶けていると考えるとよいと思います。水分は水蒸気という気体の形で空気に溶けていて肉眼では見えません。

また別の例えをすれば、水に砂糖や塩が溶けていても肉眼では見えないのと似ています。

この水分が空気に溶けることのできる量に実は

限界があるのです。無限に溶けるわけではないのです。砂糖や塩も水の中に無限に溶けず、溶けきらないものはコップの底に溜まりますね。

水分の溶ける量は室内の温度に左右され、温度が高いほどたくさん溶けます。これも砂糖や塩と同じです。お湯だとたくさん溶けますが、冷たい水だとなかなか溶けません。

なので水分を含んだ温かい空気が冷たいものに触れるなどして温度が下がると溶けきれない水蒸気が水となつて目に見える状態になります。これが『結露』です。つまり、朝の窓ガラスによく見る光景で、夏場に冷たいビールを注いで時間を置いたジョッキの光景です。



(裏面へ) ↓

■結露の対策は？

【換気・除湿】・・・生活上で発生する水蒸気や、換気不十分で室内の湿度が高い状態のとき、外気温が低くなると冷やされたガラス面などに結露が発生します。

換気をするにより室内の湿度を外にだす。または外の湿度の低い外気を取り入れることにより結露を防ぐ。

また除湿機や除湿剤をつかい湿度を下げて結露を防ぐ(ただし、エアコンの除湿は室温を下げますのでご注意ください)。



【室内の加湿の原因になるものに気を付けろ】・・・観葉植物などは窓際に置かない、浴室からの湿気、料理の際に出る湿気などを気をつけ結露を防ぐ(基本はやはり換気です)。

【結露防止シート・防止剤をつかう】・・・シートは断熱効果を狙うもの。防止剤はスプレータイプのもので窓に被膜をつくり結露を減らすというものです。

◎お問合せ・・・門司港レトロ倶楽部(093-3320106)

■まとめ

結露防止のバターンとして「除湿系」「断熱系」「結露除去系」になるようです。

ですが、自宅ではなくあくまでも賃貸となると限られた対策になると思います。まずは自分たちのライフスタイルがどうなっているか?(加湿の原因はどこか?)を把握し、それに適した結露対策をとる、ということになるのではないかと思います。また定期的な換気は健康管理にもなります。

《編集 加来》

地域情報

★【ふぐと灯りとひなまつり】・・・『灯りの祭典』『ふぐフェア』『ひなまつり』の3つの催しが一度に楽しめる門司港の冬の一大イベントです♪「ふぐ鍋」・「ふぐひれ酒」の振る舞いもありますよ♪

◎日時・・・2月1日(土) 3月9日(日)

◎開催場所・・・門司港レトロ地区一帯

◎お問合せ・・・門司港レトロ倶楽部(093-3320106)

先月グッときた本の紹介



西村の

『アルケミスト ～夢を旅した少年～』



パウロ・コエーリョ[著] 出版社:角川文庫

本棚はマンガ本と趣味に関する物が大半を占めている私ですが、この本はそれ以外の物の中で手放さずに置いてある物の一冊です。過去には、各国のベストセラーに並ぶ程の本だということを知りました。主人公の羊飼いの少年が夢でみた宝を追って旅をする物語を書いた小説です。文中では主人公の少年の旅を通して『夢を持つこと』の大切さや『今、この瞬間にメッセージがある』など物語の場面やできごとを通してメッセージや気づきがある本です。この本が『グッ』とくるのは、初回に読んだときよりも、2回3回と読む回数を追うごとに、そのときそのときの発見や気づきがあり、それが自身の身の回りに起こったできごとなどに投影されているような面があると感じられるところです。また決しておもしろくなく、何となく読んでいても心にとまるフレーズがあるのも魅力です。小説なのでファンタジー的要素もあり、荒唐無稽に感じる部分もありますが、私の本棚の定位置にある良書です(笑)。今回読んだ中ではクリスタルの商人と出会う章が印象的で、物事を見たいように見るのか、見えているように見るのかというような、『物事の捉え方』や『その見方』について考えさせられました。

感動日記

【加来寛の感動体験】

当社では一月の仕事始めには毎年恒例の「抱負の発表」をおこないます。手前味噌ですが私をふくめスタッフの抱負を紹介させて頂きます。私の抱負は「穏やかな心をやしなう」。井料(健康)。園田(化学反応)。石川(真摯に受け入れ、やさしい言葉づかい)。柴田(機敏に、マメに、良く聞いて)。西村(行動)。妻は「笑顔で感謝の気持ちを抱負の発表を聞き、とてもよい刺激を受け「今年もガンバろう!良い一年にしよう」という気持ちになりました。

【井料隆彦の感動体験】

先日、夫婦で佐賀の妻の実家に行ってきました。日曜の朝はやく、妻の両親ともどもわたしたちが向かったのは、佐賀県鹿島市で毎年行われているという「ふな市」です。300年以上つづく伝統的な行事だそうです。妻の実家では毎年この「ふな市」でふなを購入し家でふなの昆布巻き「ふなんこい」を作るのが習わしだそうです。並んだ店先には生きたふながたくさん泳いでいて、見慣れない私にはちょっと刺激のつよい(気色の悪い...)光景でした。妻がおいしそうにふなの昆布巻きを食べる姿を横目で見ながら、世間にはまだまだ私が知らない世界があるんだな...と思いました(笑)。

【石川明人の感動体験】

先月、あるお客さまの自宅へお邪魔した際にお仕事の話になりました。「わたしは朝はやく起きて仕事をしていた。朝は、はかどる」というお話でした。不動産業は何かと業務がおおく、したいこともあるのに時間がかれない、と常に思っており、そこに自分で時間を作るという意識はありませんでした。「そうか、朝早起きして作業を行えばよいのだ」ととても単純なことですがこれに気づき早速実践しました。朝は日中よりも集中ができ夜は家族との時間もとれ、良いことだらけの時間となりました。今後も「朝活」をしたいと思っています。ありがとうございます!

【柴田知彦の感動体験】

スタジオジブリのレイアウト展へ行ってきました。レイアウトというのは、アニメの1シーンがどのように変化・展開していくかというのを、ち密に描いた1枚の絵です。例えば「この場面です」とは画面の右端から左端まで秒間で動く」といような詳細な指示でもラピエタ、ものけ姫、千と千尋の神隠しなどの展示コーナーは多くの来場客があり、その美麗な絵やち密な指示、そこからでき上がったアニメを見るたびに「へえ」「すごい!」というような感嘆の声が上がっていました。一枚の絵からでき上がる作品の数々にとても感動しました。